事例No.	1903
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	岩手県

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

基幹病院から過疎地域等の中小病院への医療従事者の派遣

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【岩手県】
基幹病院から過疎地域等の中小病院への医療従事者の派遣

広域化等 **病院事業**

岩手県医療局

● 取組の概要

県立病院（センター・基幹病院）から、医師不足が著しい地域の病院（県立病院・市町村立病院等）に医師を派遣し、地域医療提供体制の維持・確保を積極的に推進している。

◆総事業費　診療応援手当 約96,000千円、交通費等 約182,000千円

◆背景

- 岩手県では、県内の9つの二次医療圏全てに中核的医療を担う基幹病院（9病院）を設置するとともに、交通事情や医療資源に恵まれない地域において、地域の初期医療等を担う地域病院等（11病院6地域診療センター）を設置し、市町村立病院等とともに、地域医療提供体制の維持・確保を図っている。
- 本県においては、医師の地域偏在や診療科偏在が著しく、医師の確保が比較的可能な基幹病院から、医師不足が著しく、医師の確保が困難である地域の病院（県立病院・市町村立病院）に医師派遣を行う取組が不可欠である。

◆具体的内容

- 令和3年度において、8,747件の医師派遣を実施。
  - ① 県立病院間の派遣実績　7,454件
  - ② 市町村立病院等への派遣実績　1,293件
- その他に、看護師、事務職員等の派遣も実施。

◆効果

- 派遣元と派遣先の連携が図られ、機能分化・連携強化の推進に寄与。
- 急性期から慢性期まで様々な診療に従事することができ、応援医師の経験値及び能力が向上。
- 新型コロナウイルス感染症対応においてもこのスキームが活用でき、負担が大きい病院の円滑な支援につながった。

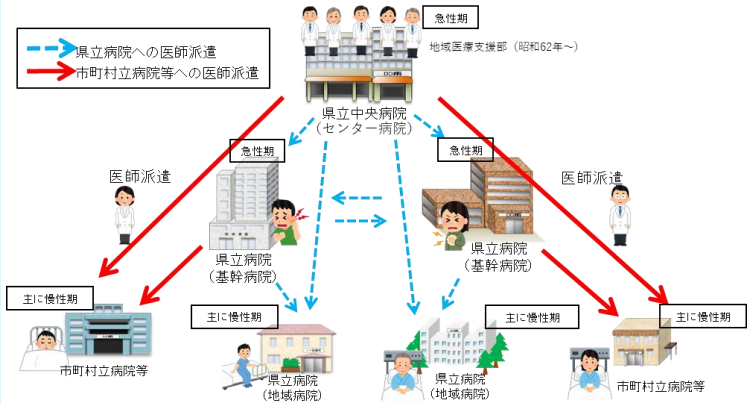
● 取組のポイント

- 派遣元の病院においては、地域の他の病院支援が、必要な役割として明確に位置付けられ、医師をはじめとする医療従事者の理解が得られていることが重要である。
- 一方的な支援ではなく、派遣先・派遣元双方で不足する診療科の相互応援である。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　1,185,667人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　15,275km^2　（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　4,888床（令和3年度決算）

派遣イメージ



● 取組のスケジュール

- 昭和62年に、県立中央病院（センター病院）に地域医療支援部を設置し、医師派遣の取組を組織化。
- 翌年度の医師の状況を踏まえ、年度末に派遣調整のための会議を開催するとともに、年度途中においても、随時調整を実施。

● 今後の展望

- 公立病院経営強化ガイドラインの趣旨に沿って、引き続き病院の機能分化を進めながら、医療従事者の派遣の取組を継続する。